

25熊大生命000105

平成25年 8月 2日

国立大学法人動物実験施設協議会 会員校 殿

熊本大学生命資源研究・支援センター長

尾池 雄一

(公印省略)

平成25年度実験動物関係教職員高度技術研修（マウスにおける生殖工学技術：新鮮、冷蔵および凍結精子を用いた体外受精を中心として）の開催について（通知）

このことについて、大学等における実験動物関係職員の資質向上と教育・研究の発展を図るため、別紙要領により標記研修を実施します。

については、研修希望者がある場合は 平成25年9月30日（月）（必着）までに、別紙様式1，2により必要事項をご記入のうえ、下記宛先へメールの添付ファイルにてご提出願います。

なお、本通知は、従来の文部科学省研究振興局学術機関課からの通知に代わるものでありますので申し添えます。

【本件連絡先】

〒860-0811 熊本市中央区本荘2-2-1

熊本大学生命科学系事務ユニット センター事務チーム 鶴原

TEL 096-373-6637 FAX 096-373-6638

E-Mail : iys-senter@jimu.kumamoto-u.ac.jp

<別紙要領>

平成 25 年度実験動物関係教職員高度技術研修
【マウスにおける生殖工学技術：新鮮、冷蔵および凍結精子を用いた
体外受精を中心として】実施要領

1. 目的

近年、遺伝子改変マウスの系統保存は、胚の凍結保存に代わり精子の凍結保存が主流になりつつある。また、最近、個体での輸送に代わり、精巢上体尾部を冷蔵輸送するケースが増えている。さらには、新鮮精子においても、運動性を有するにもかかわらず、受精率が極めて低い系統が存在していることから（129 や BALB 系統）、これら精子を用いた体外受精技術の習得は、極めて重要である。そこで本研修では、マウス精子の冷蔵および凍結保存、さらにはこれら精子（新鮮精子も含む）を用いた体外受精技術を習得し、遺伝子改変マウスの効率的な作製、保存、供給（輸送）を図ることを目的とする。

2. 主催

- ・熊本大学生命資源研究・支援センター
 - ・新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター
- （企画：国立大学法人動物実験施設協議会）

3. 研修会場、期間、日程

- （1）会場：熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設新館
（熊本大学本荘キャンパス）
- （2）期間：平成 25 年 12 月 10 日（火）～平成 25 年 12 月 13 日（金）
- （3）日程：別紙のとおり

4. 受講対象者及び受講予定者数

国立大学法人及び大学共同利用機関法人のうち、技術職員及び非常勤職員を対象とする。

5. 受講予定者

10 名～20 名程度

6. 申し込み、決定

（1）申し込み

各機関及び各施設の長は、希望者を別紙様式（1，2）により、平成 25 年 9 月 30 日（月曜日）（必着）までに、熊本大学生命資源研究・支援センター長に推薦する。なお、希望者複数の場合は推薦順位を付すこと。

（2）決定

熊本大学生命資源研究・支援センター長は、前項により推薦された者の中から研修生を決定し、各機関及び各施設の長に通知する。

7. 研修課題及び内容

(1) 研修課題

「マウス精子の冷蔵・凍結保存およびこれら精子（新鮮精子も含む）を用いた体外受精技術の習得」

(2) 研修内容

遺伝子組換え動物に係る法令遵守、遺伝子改変マウスの作製、系統および遺伝子の国際命名や生殖工学技術に関わる基礎知識を身につけるための講義および精子の冷蔵・凍結保存、これら精子（新鮮精子も含む）を用いた体外受精、胚の凍結保存・胚移植に関する実習を行う。また、技術職員の生殖工学技術を用いた研究支援について意見交換を行う

8. 経 費

研修料は無料とし、研修旅費は熊本大学生命資源研究・支援センターにおいて負担する。

9. 修了証書

この研修の所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。

(別紙様式1)

平成25年度実験動物関係教職員高度技術研修（マウスにおける生殖工学技術：新鮮、冷蔵および凍結精子を用いた体外受精を中心として）推薦書

推薦 順位	機 関 等 名	職名等	氏 名	担当業務等	資格等 (参 考)

[事務連絡先]

所在地	〒				
機 関 等 名					
所 属					
職 名		氏 名			
T E L		F A X			
E-Mail					

(別紙様式2)

平成25年度実験動物関係教職員高度技術研修(マウスにおける生殖工学技術:新鮮、冷蔵および凍結精子を用いた体外受精を中心として)申込書

(機関等推薦順位 第 位)

フリガナ			性別	男 ・ 女	生年 月日	年 月 日 (満 歳)
氏名						
機関等名		職名等			等級等	※国公立機関等の場合 職() 級 号俸
連絡先	TEL			FAX		
	E-Mail					
所属機関所在地	〒					
現在の職務内容						
	<input type="checkbox"/> 動物の飼育管理(大・中・小) <input type="checkbox"/> 実験研究補助 <input type="checkbox"/> 微生物・遺伝モニタリング <input type="checkbox"/> 受精卵・胚操作 <input type="checkbox"/> 事務一般 <input type="checkbox"/> その他()					
受講希望理由と将来活用への抱負						

※平成25年8月1日現在において記入のこと。ただし、職務内容については過去3年間の経験をふまえて記入のこと。

平成25年度国動協高度技術研修

日時 平成25年12月10日(火)～12月13日(金)
開催場所 熊本大学生命資源研究・支援センター 動物資源開発研究施設 新館
主催校 熊本大学生命資源研究・支援センター
 新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター

講師等名簿

講師・技術指導	所属	氏名(敬称略)
講師(講演順)	文部科学省研究振興局ライフサイエンス課生命倫理・安全対策室 課長補佐	宮本 英尚
	熊本大学生命資源研究・支援センター 准教授	荒木 正健
	熊本大学生命資源研究・支援センター 准教授	荒木 喜美
	理化学研究所バイオリソースセンター コーディネーター	吉木 淳
	実験動物中央研究所 部門長	高倉 彰
	熊本大学生命資源研究・支援センター 教授	中湊 直己
	熊本大学生命資源研究・支援センター 助教	竹尾 透
	浜松医科大学医学部附属動物実験施設 准教授	加藤 秀樹
技術指導	熊本大学生命資源研究・支援センター	土山 修治
	熊本大学生命資源研究・支援センター	福本 紀代子
	熊本大学生命資源研究・支援センター	近藤 朋子
	熊本大学生命資源研究・支援センター	春口 幸恵
	熊本大学生命資源研究・支援センター	竹下 由美
	熊本大学生命資源研究・支援センター	中牟田 裕子
	熊本大学生命資源研究・支援センター	梅野 智子
	熊本大学生命資源研究・支援センター	西村 愛美
	熊本大学生命資源研究・支援センター	岩本 まり
	熊本大学生命資源研究・支援センター	高橋 郁
	熊本大学生命資源研究・支援センター	古波蔵 恵里
	新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター 教授	笹岡 俊邦
	新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター	前田 宣俊
	新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター	永田 史也

研修日程

12月10日(火) 熊本大学生命資源研究・支援センター 動物資源開発研究施設 新館5階 演習室

時間	講習内容	講演者等
13:00～13:30	受付	
13:30～13:45	開講式	生命資源研究・支援センター長
13:45～14:15	特別講演「遺伝子組換え動物に係る法令遵守」	宮本 英尚
14:15～15:00	講義1「ジーントラップマウスの作製」	荒木 正健
15:00～15:15	休憩	
15:15～16:00	講義2「ノックアウトマウスの作製」	荒木 喜美
16:00～16:45	講義3「組換え遺伝子の検査」	吉木 淳
16:45～17:30	講義4「胚操作による微生物クリーニング」	高倉 彰
17:30～17:45	本日のまとめ	

12月11日(水) 熊本大学生命資源研究・支援センター 動物資源開発研究施設 新館5階 演習室

時間	講習内容	講演者等
8:45~10:45	実習 新鮮精子の体外受精	中潟 直己、竹尾 透
10:45~11:00	休憩	
11:00~12:00	実習 マウスピース・キャピアリー作製と胚操作の練習	中潟 直己、竹尾 透
12:00~13:00	昼食・休憩	
13:00~13:30	実習 精巢上体尾部の冷蔵保存	中潟 直己、竹尾 透
13:30~14:15	実習 卵子の洗浄	中潟 直己、竹尾 透
14:15~15:15	実習 精子の凍結保存	中潟 直己、竹尾 透
15:15~15:30	休憩	
15:30~16:15	講義5「生殖工学」	中潟 直己
16:15~17:00	講義6「マウス体外受精に関する基盤整備技術」	竹尾 透
17:00~17:30	実習 卵子の観察	中潟 直己、竹尾 透
17:30~17:45	本日のまとめ	

12月12日(木) 熊本大学生命資源研究・支援センター 動物資源開発研究施設 新館5階 演習室

時間	講習内容	講演者等
8:45~11:00	実習 凍結精子、冷蔵精子を用いた体外受精	中潟 直己、竹尾 透
11:00~11:15	休憩	
11:15~12:00	実習 2細胞期胚(新鮮由来)のカウント	中潟 直己、竹尾 透
12:00~13:00	昼食・休憩	
13:00~14:00	実習 卵子の洗浄	中潟 直己、竹尾 透
14:00~14:45	講義7「系統および遺伝子の国際命名規約」	加藤 秀樹
14:45~15:00	休憩	
15:00~16:00	FAQ 中潟	中潟 直己、竹尾 透
16:00~17:00	実習 卵子の観察	中潟 直己、竹尾 透
17:00~17:15	本日のまとめ	

12月13日(金) 熊本大学生命資源研究・支援センター 動物資源開発研究施設 新館5階 演習室

時間	講習内容	講演者等
8:45~9:30	実習 2細胞期胚(凍結精子および冷蔵精子由来)のカウント	中潟 直己、竹尾 透
9:30~10:30	実習 胚の凍結保存	中潟 直己、竹尾 透
10:30~10:40	休憩	
10:40~11:40	実習 胚の融解	中潟 直己、竹尾 透
11:40~12:00	デモ 卵管内胚移植	中潟 直己、竹尾 透
12:00~12:30	閉講式・写真撮影	生命資源研究・支援センター長